

## 福井火力発電所三国 1 号機の運転再開について

平成24年11月12日  
北陸電力株式会社

当社は、福井火力発電所三国 1 号機（定格出力：25万kW）において、主タービンの振動が高めに変動する現象が発生したことから点検を実施することといたしました。（11月7日お知らせ済み）

点検の結果、主タービンの軸受け部に、塵や埃と潤滑油が混ざり固まった物が付着していることを確認しました。振動が高めに変動する現象は、軸受け部に付着したこの固形物が、タービン軸と接触することにより発生したものと推定されます。また、振動の発生箇所と推定される部位には、その他の異常は認められませんでした。

対応として部品の清掃手入れを実施し、点検補修が完了したことから、本日6時32分に運転を再開いたしました。

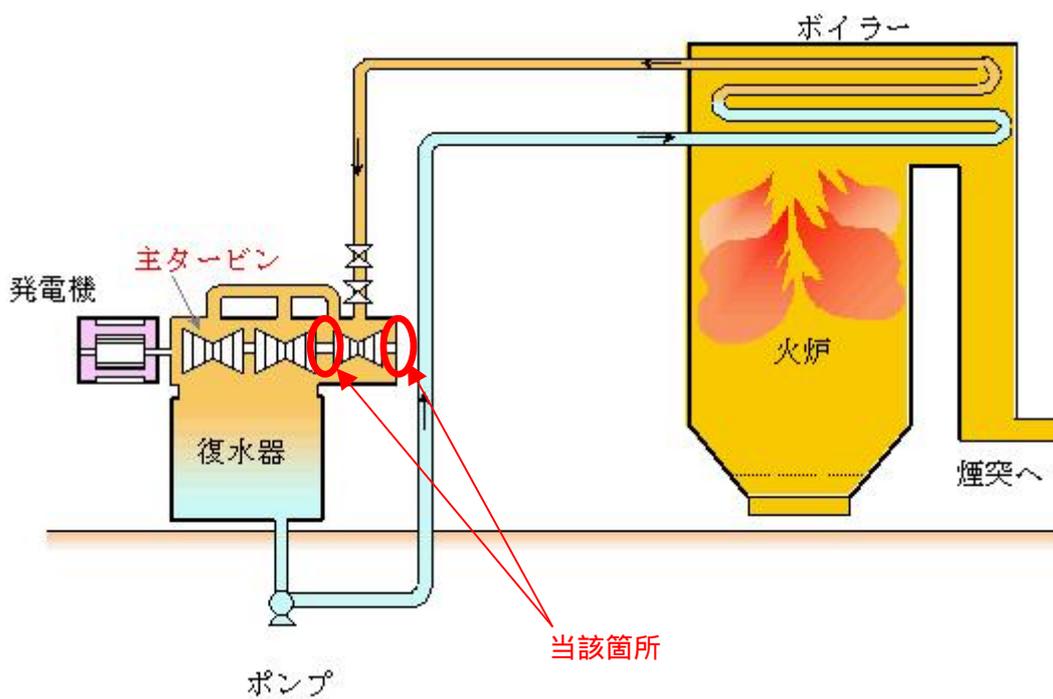
当社は、今後も発電所の安全運転に万全を期してまいります。

### 主タービン

複数の翼で構成されており、ボイラーで発生させた高温・高圧の蒸気により回転することで同軸につながっている発電機を駆動させるもの。

以 上

【全体図】



【軸受部拡大図】

